リペアインフォメーション

書簡 No.	RI-10-0099
件名	フルオートマチックリトラクタブルハードトップ開閉について
調査対象	板金　フルオートマチックリトラクタブルハードトップ
車名	ＢMW　Ｚ４
型式	LM25
年式	平成22年

写真は、BMW Z4（LM25）です。
フルオートマチックリトラクタブルハードトップ（以下、ハードトップ）開閉について紹介します。

（写真１）

ハードトップの開閉は、車両購入時に付属される取扱説明書に、外気温が「-10.0℃」以下の場合ハードトップの開閉ができないと記載があることから外気温がハードトップの開閉制御に関連しています。

外気温センサ（以下、テンプセンサ）フロントホイールハウスカバー前部に取付けられています。

仮にフロント事故などによるテンプセンサに損傷が発生した場合ハードトップの開閉ができなくなると考えられます。よって、見積時の損傷診断や復元修理などでは注意が必要です。

（写真２）

リペアインフォメーション

参考
人為的に断線状態（テンプセンサ取外し状態)）を作成したときの症状を紹介します。

写真３は、メータパネルです。
テンプセンサ取外状態でエンジンを始動するとディスプレイ内に外気温度「-40.0℃」と表示されます。

（写真３）

写真４は、コントロールディスプレイです。
メータパネル同様に外気温度「-40.0℃」と表示されます。

（写真４）

この様な表示での開閉は不可能でした。

以上